

日本の脳神経外科医療の可視化に関する研究、脳神経外科治療全数調査

脳神経外科医は、脳神経外科疾患の幅広い領域にわたって、その予防、救急対応、診断、外科的・非外科的治療、周術期管理、リハビリテーションなど長期予後管理などを一貫して担当しています。また、間近にせまった超高齢化社会において、脳神経外科領域の患者さんが激増することが予測されています。

そのような状況下で、日本の脳神経外科治療の現状を把握し、今後のより良い脳神経外科診療および医療体制を構築することが極めて重要です。昨年度に日本全国の脳神経外科で治療を受けたすべての患者さんのデータを集積し分析することにより、今後の検討に有用な基礎データベースを構築するためにこの研究が行われます。

データの解析に当たっては、患者さんのプライバシーが完全に保護される体制で研究は行われますが、本研究の解析にご自分のデータを使用されることを拒否される方、及び疑問のある方は、以下の担当者にご連絡ください。

2013年12月16日

JAとりで総合医療センター 脳神経外科：鶴岡 信

TEL：0297-74-5551

**2012年4月から2013年3月の間に
本院の脳神経外科で治療を受けた患者さん
へのお願い**



現在、当院では、下記研究代表者および国立循環器病研究センターと共同で、**脳神経外科医療の可視化に関する研究**を進めています。上記期間に入院された患者さんの臨床データを解析させて頂き、脳神経外科医療の見える化に役立てることを目的としています。解析にあたっては、**患者さんの個人のプライバシーは完全に保護されます**。本研究の解析に自分のデータを使用されることを拒否される方及び疑問のある方は、下記にご連絡下さいますようお願い致します。

脳神経外科医療の可視化に関する研究

■九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科：飯原 弘二

TEL (092) 642-5524

JA とりで総合医療センター 脳神経外科：鶴岡 信

TEL (0297) 74-5551